

「ロボット導入に必要な知識や技術は？」

ロボット SI 業務をこれから請負いたい企業様へ育成研修を実施します！

主催：栃木県 令和 4 年度

ロボットシステム インテグレーター (Sler)

育成研修

申込期間：2023 年 1 月 31 日 (火) まで

2023 年 (令和 5 年)

2月2日(木) ~ 22日(水)の内

座学と実技合わせて 5 日間



全て受講すると「修了証」を発行致します

定員 20 名

申込みは裏面へ

対象者 | 栃木県内に事業所を有し、次のいずれかに該当する企業のエンジニア
又はエンジニアを目指す者

- ★ ロボット SI 事業を営んでいる又はロボット SI 事業に参入しようとしている企業
- ★ 自社内の生産設備に関するロボット SI 業務に携わる人材を育成しようとする企業

研修プログラム | 座学 3 日間・実技 2 日間の合計 5 日間

※ 本研修は、労働安全衛生法第 59 条・同規則第 36 条により産業用ロボット作業者に義務付けられている安全教育で、安全衛生特別教育規定第 18 条、第 19 条に指定された内容を含むものであり、すべてのカリキュラムを研修生に受講させた事業者には、受講後、「教示・検査等の業務に係る特別教育終了通知書」を交付すると共に、受講生にも「修了証」を発行します。



研修担当講師 (座学 1)

角淵 弘一 (つのぶち ひろかず)

新エフエイコム株式会社 西日本事業所 営業本部

[経歴]

経産省が推進する DX 政策に関連し各自治体が主催するセミナーに講師として複数登壇。30 年以上大手 FA 機器メーカー (株式会社キーエンス) に所属し、FA 機器の企画開発に従事。製造業の IoT 化やトレーサビリティを実現する機器のマーケティング・商品企画・システム構築が専門分野。現在、半導体業界国際規格団体 SEMI (Semiconductor Equipment and Materials International) の国際標準化日本地区規格委員長でもある。半導体不足問題により注目を浴びている中、半導体サプライチェーンを管理する国際規格開発グループリーダーを務めている。アメリカの規格委員とともに国際規格開発を中心的に進めている。

講師はロボット Sler として第一線で活動する者が担当し、ロボット導入事例を交えた講義を行います。



座学 1

2月2日(木)
9:00~17:00



開講式

- ロボット Sler 業務の全体像、スキル標準の位置付け
- 組織体制・営業技術・品質保証・生産技術・安全対応
- 生産技術とロボット導入のための地ならし
- 現状分析・課題抽出・提案要求書作成
- RIPS(ロボット SI 導入プロセス標準) とは

座学 2

2月9日(木)
9:00~17:00

- ロボット制御
- システム制御
- 電気設計
- 電気配線

座学 3

2月15日(水)
9:00~17:00

- 機械設計
- 機械組立
- 画像処理
- IoT とトレーサビリティ

会場：SMARABO OYAMA スマラボ小山

実技 1

2月21日(火)
9:00~17:00



- 安全衛生特別教育規定に基づいた産業用ロボットの基本的な動作とプログラミング

実技 2

2月22日(水)
9:00~17:00

- 安全衛生特別教育規定に基づいた産業用ロボットの基本的な動作とプログラミング



成果発表・講評
閉講式

会場：新エフエイコム本社 (第三工場)

※ 座学は「ロボットシステムインテグレータ (ロボット Sler) スキル標準」(経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室、一般社団法人日本ロボット工業会) で示された「技術区分」及び「スキル項目 (レベル 1 相当の内容)」に準拠します。

実施概要

労働力人口の減少を背景に、生産活動の自動化や高度化が重要なテーマとなっており、ロボットを活用した機械システムの導入提案や設計、構築等を行うロボットシステムインテグレーター（SIer）の担うべき役割がますます重要になっています。そこで、栃木県では、県内事業者のロボットシステムインテグレート（SI）事業への新規参入・事業拡大を促進するとともに、ユーザー企業へのロボット導入を促進するため、ロボットSI事業に必要な知識や技能、提案能力の習得を目的とした基礎講座を実施します。

研修期間
定員数
受講料
申込期間
申込方法

令和5年（2023）年2月2日（木）～22日（水）

20名 ※先着順に受付し、定員になり次第締め切らせていただきます。

30,000円／名 ※5日間分の料金です。納付方法等は受付後、別途ご連絡いたします。

2022年12月22日（木）～2023年1月31日（火）

① 下記参加申込書に必要事項を記入の上、メール又はFAX

② QRコードを読み取りGoogleフォーム上で必要事項を記入し送信

研修会場アクセス



SMALABO OYAMA スマラボ小山 (スマートファクトリーコンダクターラボ)



〒329-0206

栃木県小山市東間々田
3-23-23

[交通アクセス]

JR 宇都宮線「間々田駅」
東口より徒歩15分



新エフエイコム本社（第三工場）



〒329-0216

栃木県小山市檜木 293-21

[交通アクセス]

JR 宇都宮線「間々田駅」
西口下車タクシー5分

ロボットシステムインテグレーター育成研修 参加申込書

送信先

E-mail: contact@s-facom.jp FAX: 03-5860-1648

新エフエイコム株式会社（研修事業受託者） 担当：杉本宛

Google フォームからもお申込可能



企業名	
住所（請求書送付先）	〒
担当者の氏名（ふりがな）	()
担当者のTEL / FAX	TEL - - / FAX - -
受講者のご所属・役職名	
受講者氏名（ふりがな）	()
受講人数 ※いずれかに○をお付けください	1名 ・ 2名 ・ 3名 ・ 4名 ・ その他 (名)
2名以上を選択された場合は受講者の「ご所属・役職名」「氏名（ふりがな）」をそれぞれご記入ください。	- - - -

【お問合せ先】 ■ 栃木県（研修主催者） 産業労働観光部工業振興課 TEL:028-623-3192 FAX:028-623-3945

■ 新エフエイコム株式会社（研修事業受託者） TEL:03-5860-1647 FAX:03-5860-1648